

## リ・ニュータウン通信



# 高蔵寺ニュータウン未来プラン ワークショップを開催しました！！

市では、高蔵寺ニュータウンが「いつまでも安心して快適に住むことができるまち」であり続けるために、実現性が高いプロジェクトと夢や希望を抱くことができる展望を併せ持つ計画として、高蔵寺ニュータウン未来プラン（仮称 高蔵寺リ・ニュータウン計画）を策定するにあたり、皆様のご意見を「未来プラン策定」に反映させるため、ワークショップを開催しました。高蔵寺ニュータウンに、熱い思いを持った公募の34名の方が集まり、9月19日（土）と9月26日（土）の2日間に渡り、高蔵寺ニュータウンの課題について皆で一緒に考えました。

「買い物・交通」、「駅周辺の賑わい創出」、「空き家活用によるコミュニティの活性化」の3つのテーマごとに分かれて活発な議論を行いました。

### ステップ1

最初にそれぞれのグループがテーマについて、その現状の課題を話し合ったあと、課題を解決するための、アイデアを出し合いました。



テーマ (グループ)	買い物・交通	駅周辺の賑わい創出	空き家活用 (1班)	空き家活用 (2班)
グループで出された課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュータウン内は大きな土地がなく、スーパーができない。</li> <li>・ニュータウン内にスーパーが少ない。</li> <li>・深夜バスは終電より早く終わってしまう。</li> <li>・利用者が減りバスの本数も減ってきている。</li> <li>・運賃が高い</li> <li>・買い物にすべての路線が便利なわけではない。</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が立ち寄る魅力的なお店や施設がない。</li> <li>・人々にとって通過駅になってしまっている。</li> <li>・駅前広場がバス、タクシー、マイカーで占領されている。</li> <li>・送迎車が多く渋滞が多い。</li> <li>・南北の通路が暗く、行き来が不便である。</li> <li>・駅周辺にコインパーキングが多い。</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本全国で空き家率の上昇と新設住宅着工件数の減少が見られ、ニュータウンも例外ではない。</li> <li>・戸建ての空き家やUR賃貸の空き家の増加</li> <li>・雑草や植栽が繁茂している。</li> <li>・ニュータウンに住む人と外に住む人とのイメージの違い。</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の世代交代がなく、持ち主も手放いため、空き家が増加</li> <li>・区画が大きいため空き家を購入しづらい。</li> <li>・空き家の増加により、景観が悪化</li> <li>・空き家の増加により防犯上のリスクが高まり、住環境の価値が下がり、まちの活力が低下する。</li> <li>など</li> </ul>

### ●ワークショップに参加できなかった地域の皆様、ご意見を大募集！！

このかわら版を読んで「私もアイデアや意見がある！」方は、あなたの声をぜひお寄せください。

必ず、お名前とご連絡先（ご住所、お電話番号）を記入いただき、下記へお送りください。

郵送、ファックス、E-mailのほか、直接持参でも結構です。

宛先：春日井市企画政策部ニュータウン創生課（〒486-8686春日井市鳥居松町5-44）

FAX 0568-83-9988 E-mail nt-sosei@city.kasugai.lg.jp

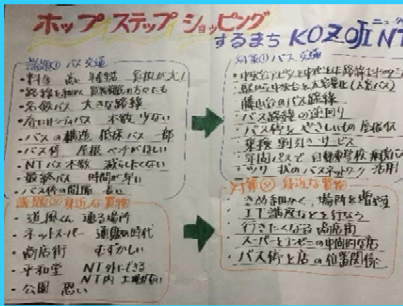
皆さんの声も  
お寄せください！



## ステップ2

グループで出たアイデアを提案としてまとめ、発表に向けた準備を行い、みんなの前で発表しました。

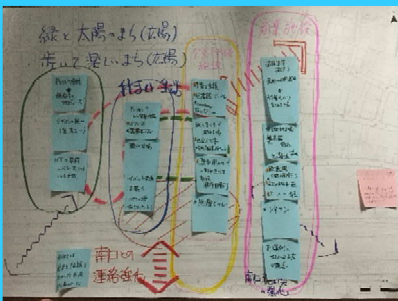
### 買い物・交通グループの提案



- ★中央台のアピタを中心とした路線にして、高蔵寺ニュータウン内を網羅する。
- ★駅から中央台までは大きなバスで運行する。
- ★乗り換え割引サービスを実施する。
- ★道風くん(移動販売車)を藤山台と石尾台だけでなく他の地区でも実施する。
- ★ネットスーパーを使うためのIT講座を開催する。
- ★コンビニとスーパーの中間のような施設を誘致する。など



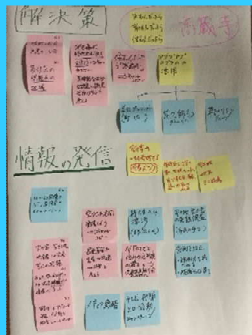
### 駅周辺の賑わい創出グループの提案



- ★飲食街、スーパー、医療モール、シネコンなどの商業施設を誘致する。
- ★図書室、子育て支援施設など、公共的な施設を整備する。
- ★南口との連絡を強化する。
- ★駅舎の地下にバスロータリーなどを設置し、バスと電車の乗り換えの利便性の向上を図りつつ、空いた駅前広場にシンボルツリーを植えたり、イベント広場として利用できるように整備する。など



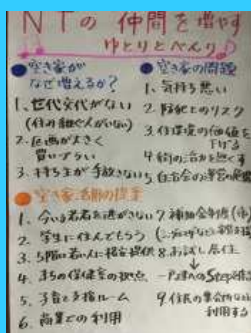
### 空き家活用(1班)グループの提案



- ★モデル地区を設定し、空き家を地区の拠点として活用する。
- ★空き地、空き家を発展余地として宣伝や売り込みを行う。
- ★賛同者で出資を募り、空き家や空き地を借り、集会や遊び場などに利用する。
- ★空き家バンクのように空き家を一括管理する。
- ★空き地を農地として活用する。
- ★新聞やテレビなどで、自然環境の良さや治安が良いことなどを情報発信し、空き家への居住を促す。
- ★町内会にて街の美化に努める。など



### 空き家活用(2班)グループの提案



- ★空き家の多いUR賃貸の5階を学生に格安で貸す。
- ★空き家を街の保健室の拠点として活用する。
- ★空き家を子育て支援室として活用する。
- ★空き家を住民の集会所として活用する。
- ★組織をつくり、空き家の情報収集を行う。
- ★ライフスタイルの提案など、ニュータウン内外への情報発信を行う。
- ★子育て施設や高齢者ケアシステムなど不足するインフラを整備する。など



今回のワークショップには、多くの方にご参加いただきありがとうございました。白熱した議論、意見交換が行われ、説得力のある提案が多く出されました。今回いただいた提案については、可能な限り、未来プランに反映させて、未来プランをより良いものにしていきたいと思っております。

# 旧藤山台東小学校施設の改修設計 ワークショップ第1回を開催しました！



さる9月26日に「旧藤山台東小学校施設の改修設計に係るワークショップ」の第1回を開催しました。

小学校の統廃合によって空き校舎となる旧藤山台東小学校施設を地域で活用するため、公募市民24名の皆さんと有効活用のアイデアを創造的に話し合うワークショップ全3回のうち第1回の報告です。

この「かわら版」を読んでいただいた地域の皆様からも積極的なご意見をお待ちしています！

## ■第1回の会場は、実際に活用する小学校！

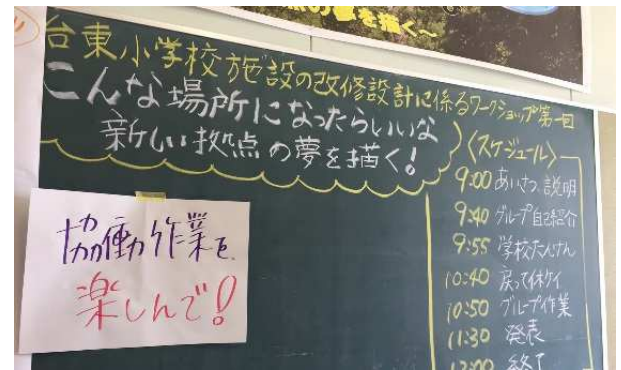
会場となった校舎3階の家庭科教室に、若者、子ども連れのお母さん、年配者の方など、公募にご応募いただいた市民が集い、賑やかにスタートしました。

まずは、主催者の市ニュータウン創生課長の挨拶、つづいて市政アドバイザーの中部大学服部教授から期待のお言葉をいただきました。

当プロジェクトのこれまでの経緯と基本方針について、ニュータウン創生課から説明。導入用途には、図書室(東部市民センターより移設)、児童館、地域包括支援センター、地域交流(NPO活動)の場が予定され、子育て世代、高齢者などの多様なニーズに対応したコミュニティサービスを提供するとともに、多世代交流ができる複合施設に改修・整備する方針を説明しました。

そして今回、改修の施設設計を担当する(株)日本設計より、ワークショップの進め方や現在の校舎施設について説明がありました。

みんなで背伸びしてリラックス(笑)

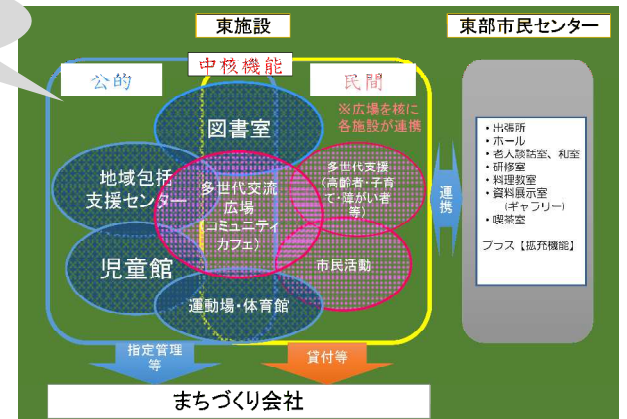


## ■“学校探検”にいざ出発です。

こんな機能を目指しています

4つの班に分かれ、図面とカメラを持って校内を見て回りました。どんな使い方ができそうか、どこに課題があるか、一緒に見て回ることによっていろいろなアイデアが聞けて触発されます。これが、ワークショップの醍醐味ですね。

「記念碑・卒業作品、懐かしいね〜」「木工台やミンもある!」という声が聞こえる中、緑に囲まれた明るい廊下、設計の専門家から改修の可能性などの説明を受けながらみんなで見て回りました。



白熱する参加者によるグループワーク!



こんなところがあるんだ〜



なつかしい雰囲気だね〜



# 第1回テーマ「こんな場所になったらいいな～新しい拠点の夢を描く」

■ 4つのグループに分かれ、グループごとに話し合って、発表です！！

各グループからは、本当にたくさんのご意見が出されました。紙面の都合で全ては紹介できませんが、その一部を以下にご紹介します。

## A班 楽しくつながる笑学校



### ■こんな場所になったらいいな！

- ・ニュータウン全体のモデル的な拠点
- ・住民が立ち寄りくなる魅力ある場に
- ・卒業モニュメント等をうまく残そう
- ・内装が冷たい感じ、温かい雰囲気
- ・誰でも気軽に、世代を超えて集まる場
- ・緑豊か。実のなる木々で収穫、活用

### ■多世代多様なスキマナシの交流の場

- ・高齢者、子ども、障がい者、若者、ママ、働き盛り、外国人も。いろんな人たちが交流できる場に
- ・はじかれる人がいない、スキマナシ！
- ・花植え等ボランティアが活躍する場

## B班

## 多世代交流 みんなのキャンパス 学び舎交流館



### ■コミュニティカフェ、市民が集う場！

- ・コミュニティカフェなどで住民の憩いの場所。
- ・人と土と緑が近いガーデンのあるオープンカフェ。野菜や生鮮品も
- ・ウッドデッキやパーゴラで外庭とつながった場に
- ・暮らしの相談コーナー、生活情報の発信拠点に

### ■バリアフリーやアクセスにも配慮！

- ・高齢者や車イスの方はエレベーターが必要。たくさんの段差の解消、階段には手すりも。バリアフリーにしてほしい。
- ・車イスでも使える多目的トイレ
- ・もっと駐車場が必要になる。同時に、交通安全にも配慮が必要
- ・空調が無く、暑さ寒さが心配
- ・トイレを明るく、大人用に改修

## C班

## スキマナシ 未来へつづく 幼老連携



### ■いろいろな活動で使おう！

- ・家庭科室のミシン、図工室の工具と作業台を活用したい。
- ・大人の工作、創作の場（図工室）
- ・みんなの調理室
- ・和室（書道のまち・お茶・お華も）
- ・落語・寄席の開催も
- ・思いっきり音が出せる音楽スタジオ
- ・オープンなステージ、文化交流
- ・健康な体力を維持するトレーニング施設に
- ・いざという時の防災拠点に。日頃から炊き出し訓練も

### ■こんな図書室に！

- ・中高生の学習、幼児絵本、木漏れ日テラスでカフェを飲みながら閲覧、サイレント読書、多世代・多様な環境を

### ■子ども、親子の環境を！

- ・子ども達の安心な遊び場の提供
- ・子育て世代が集う場、親子教室、託児サービス
- ・ママたちの交流や情報交換の場に

### ■施設の運営について

- ・住民が自ら運営に関わりたい。
- ・維持管理は経営的視点も必要
- ・地域の人が働く場に
- ・夜間も使える施設で利用率UP！

## D班

## 全体がにぎわい散歩道



次回第2回ワークショップ（10月31日）では…ワークショップでの意見を反映した素案をもとに、コミュニティカフェ・図書室・児童館・広場など、具体的な用途を想定して、どんな場所にしていきたいかを話し合う予定です。

アドバイザー  
服部先生



次回も楽しんで  
取り組みましょう！



## ●ワークショップに参加できなかった地域の皆様、ご意見を大募集！！

このかわら版を読んで「私もアイデアや意見がある！」方は、あなたの声をぜひお寄せください。

必ず、お名前とご連絡先（ご住所、お電話番号）を記入いただき、下記へお送りください。

郵送、ファックス、E-mailのほか、直接持参でも結構です。

宛先：春日井市企画政策部ニュータウン創生課（〒486-8686春日井市鳥居松町5-44）

FAX 0568-83-9988 E-mail nt-sosei@city.kasugai.lg.jp

皆さんの声も  
お寄せください！

